

靴工房開店の創業支援

支援機関 愛媛銀行 支援内容 創業計画書策定と実行管理 支援区分 創業

靴工房つくるくつ

事業者概要

社名／靴工房つくるくつ
 代表者名／森原 剛
 業種／製造業
 所在地／松山市平和通六丁目3-14
 設立／平成28年7月



新店舗

支援に至る経緯

森原代表は松山市で靴修理に携わる中、靴の製造に興味を持ち、東京で製造を学ぶため上京し、靴メーカーに勤務していた。イタリアで靴製造の経験もあって、いずれは、靴工房を創業したいという気持ちを持つに至った。

創業にあたって、資金調達の必要性が生じたため、株式会社愛媛銀行桑原支店に相談に行った。同支店も事業の将来性に魅力を感じ、事業計画策定の必要性から、よろず支援拠点を紹介され、支援を行うこととなった。

支援内容

ヒアリングを実施する中で、一緒に創業計画書を作成していった。

計画書の内容は、創業の動機、事業の概要、市場の環境、事業の将来目標、事業の課題の確認・洗い出し、収支計画である。

販売促進戦略（チラシ、Web）の策定段階では、松山という立地で情報収集に関して制約があったため、近畿圏、首都圏における情報を積極的に提供した。併せて、ニュースリリースを行い、メディアにも取り上げてもらうことができた。

創業後も、売上拡大策の検討、財務管理等を一緒に考える支援を継続している。



支援の効果

平成28年7月15日松山市山越にてオープン。

平成29年10月念願であった祖父の店舗があった萱町商店街内の自宅に移転オープンした。

地道な経営努力を行い、着実に売上増加を果たしている。

人通りの多い萱町商店街に移転したこともあって、着実に認知度が向上し、来店していただくお客様も多くなっている。

一から手作りであることから、現在納品待ちの状態が続いている。



今後の展開

「靴工房つくるくつ」で製造したオンリーワンの靴をお客様に長く使ってもらう。

「気に入った靴を修理して長く使う」という意識を持ってもらい、心のこもった修理・製造により、「靴工房つくるくつ」のファンを増やしていく。



一方、納品待ちの時間を短縮し、お客様に早く商品をお届けできるように、製造工程の効率化にも取り組んでいく。

地域に対しては当店がリーダーショップをとり、積極的に萱町商店街の発展に寄与していく。

事業者の声

おかげさまで思っていたよりも早く、念願であった祖父の店舗があった萱町商店街内の自宅に店舗を構えることが出来ました。オープンの際には、多数のお客様に来店していただきとても感謝しています。これからも出会いを大切に、お客様にフィットし、喜ばれる靴を製造していきたいと思えます。



代表者 森原 剛

支援者の声

創業から1年足らずで当初の第一目標を達成できたのはひとえに森原氏の努力と人望の賜物だと思います。慣れない資金繰り等もエクセルを活用して効率的な管理を行い、靴の製造時間を捻出しています。今後も様々な課題克服に取り組み、一緒に成長していければと思っています。



愛媛県よろず支援拠点
コーディネーター 一ノ宮 康嗣